

内容を的確におさえながら読もう

まんがの方法 / 読書のおもしろさのひみつをさぐろう

● 指導目標

事象に対する自分の見方やとらえ方を広げたり深めたりするために、必要な図書資料を選んで読む。

- 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。
- 目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書く。

● 教材について

(1)『まんがの方法』は、子供たちにとって身近で親しみのある漫画を例に、そのおもしろさを生み出す方法を多角的な観点から説明した文章である。筆者は漫画における「おもしろさ」の仕組みや方法を分析的に述べている。

文章の組み立ては、まず問題を設定して、それについて事例を提示しながら探求し、そして終末で派生的な話題を読者に投げかけるといった図式的な段落構成である。よって、話のまとまりを意識させ、段落と段落とのつながりをとらえながら読み進めることが大事になろう。また、示された事例をもとに、子供が自ら考え主体的に学習する機会を与えることもできる教材である。

そこで、この教材をもとに学習を進める際には、「まんがの方法」というテーマに興味・関心を持ち、内容を的確におさえながら読むことが求められる。そのためには、次にあげる事柄に留意して指導していきたい。

〔問題 - 答え - 筆者の意見〕という論理の展開をつかみながら読ませる。

「まんがの方法」と例示された漫画とを照合させながら読ませる。

「まんがの方法」を自分の経験と重ね合わせながら読ませる。

叙述内容に対して自分の考えを持たせる。

こうした読みを進めるには、説明的文章における読みの技能を子供の実態に合わせて指導しながら学習を進めることが重要である。単元の目標からすれば、第2教材の『おもしろさのひみつをさぐろう』が中心教材であると考えられるが、『まんがの方法』で学習した技能を活用する場面が多いことから、文章の組み立てや論理の展開の仕方をしっかりとおさえ指導していきたい。加えて、この教材は、説明的文章の読みを出発点にして探求することの意欲を高め、積極的・主体的な読書活動へと発展させる土台を形成するものである。よって、『まんがの方法』の学習をふまえて、日常的に親しんでいる漫画について、おもしろさの発見とその仕組みの解明を進めるなどして、子供一人一人の考え・感想を展開の中で生かしていきたいものである。

(2)『おもしろさのひみつをさぐろう』は、これまで学習してきたおもしろさ追求の着眼点や説明方法を生かし、読書活動から資料の整理・発表という総合的な活動へと導く教材である。『まんがの方法』とは異なり、活動的・創造的な学習が予想される。

この学習は主に個人での活動が中心になるので、学習者の興味に合わせた指導と配慮が必要になる。次に示すことに留意して指導していきたい。

『まんがの方法』で学んだような論理の展開ができる適切なテーマを設定させる。

必要な資料について十分な部数を確保し、資料から読み取ったことをまとめるためのワークシートなどを準備する。

発表資料は、作成した発表原稿からキーワードとなる言葉を抜き出して作成させる。

● 学習指導計画（全 13 時間）

展開・時	学習活動	留意点
第 1 時	○ 単元の目標と学習活動を知り，学習計画を立てる。 ○ 『まんがの方法』以外に「おもしろさ」を探求できるテーマについて話し合い学習の見通しをもつ。	・ 心に残っている漫画について話し合ったり，実際に漫画を提示したりするなどして動機づけする。 ・ 「おもしろさ」とは単に楽しめる事柄だけではなく熱中できること全般とし，テーマを考えさせる。
第 2 時 （展開例） （本時）	○ 全文を通読し，筆者が提示した課題，「まんがの方法」の定義が述べられている段落を確認し，まとめる。 ○ 「まんがの方法」に着目しながら段落のまとまりを確かめ，全体の段落構成を大まかにつかむ。	・ 問題意識をもちながら読み進めるようにノートにまとめさせる。 ・ 段落のまとまりから，筆者の論理の展開を見通させる。
第 3 ～ 7 時 （展開例） 第 3 時 （本時）	○ それぞれの「まんがの方法」について叙述内容を読み取り，その役割や効果についてまとめる。 ○ 各自で用意した漫画にも「まんがの方法」があてはまるかどうか確かめる。 ○ 全体の段落構成から，筆者の論理の展開をとらえる。	・ 語と語の照応をさせたり，中心になる文を見つけさせたりする。 ・ 「まんがの方法」と提示された事例とを比較・検討させる。 ・ 段落相互の関係から論理の展開について話し合わせる。 ・ 言語事項は随時指導する。
第 8 ・ 9 時	○ 『まんがの方法』をもとにテーマを考え，発表計画を立てる。	・ テーマを設定できない児童には教師が設定したものから選択させ，調べ学習へと導く。
第 10 ～ 12 時	○ テーマにそっておもしろさのひみつを探求する。 ○ 『まんがの方法』をもとに，論理の展開を明確にしながら，発表原稿を作成する。 ○ 効果的な資料を作成し，発表練習をする。	・ 資料の整理のため，メモのとり方や付箋の使い方などを指導する。 ・ 自ら提示した問題とそれに呼応する答え（調べた内容），そして自分の意見をはっきりさせるように助言する。 ・ ポスターセッションなど，短時間で準備できる方法を選択する。
第 13 時	○ 発表会を行い，さまざまなテーマに関する「おもしろさ」について知るとともに，探求の方法や内容について相互交流を図る。	・ 相互評価のため，評価表を用意するなど，発表内容・発表の仕方などについて検討し合う。

● 展開例

本時の展開（本時 2 / 13）

目 標

「まんがの方法」に着目しながら段落のまとまりについて考え、全体の段落構成をつかむことができる。

評価規準

ア) 漫画の表現方法に興味をもち、意欲的に読もうとしている。(関・意・態)

イ) 段落の要点を押さえながら段落相互の関係を捉え、図に表している。(読む能力)

学習活動	学習内容・留意点	評価・支援
1 学習課題を確認する。	「まんがの方法」をもとに段落をグループ分けしよう。 ・形式段落に番号を付け、内容のまとまりを考えながら音読する。	・新出漢字の読み方や重要語句の意味を明らかにしておく。
2 筆者が提起した問題、「まんがの方法」の定義を捉える。	○ 第1段落→問題 「まんがのおもしろさのひみつは、どんなところにあるのでしょうか。」 ・「その」の指示内容を明らかにして書きまとめる。 ・文末表現に目を向ける。 ○ 第2段落→「まんがの方法」 「まんがに特有の、共通した表現方法を『まんがの方法』と呼ぶ。」	読：筆者が提示した課題と「まんがの方法」の定義を的確に読み取ることができる。(ノート) ・本文の該当箇所を指摘させ、ノートにまとめさせる。
3 「まんがの方法」について述べている段落を見つける。	○ 第4, 5段落→コマについて (まんがの方法) ○ 第6, 7段落→せりふ(言葉)について (まんがの方法) ○ 第8, 9段落→人物のえがき方について (まんがの方法) ○ 第10段落→物語の進行の仕方について (まんがの方法) ○ 第12→背景の線について (まんがの方法) ○ 第13段落→ナレーターの語りについて (まんがの方法) ・文頭の表現に着目して読む。 ・主語に着目して読む。	読：「まんがの方法」に着目しながら、段落のまとまりを作ることができる。(ノート) ・第2段落以降、「方法」を表す言葉に着目するよう指示する。 ・前段落とつながりが見られるかどうかを中心に判別するよう助言する。
4 ノートに整理する。	○段落のまとまりを図示しながら全体の段落構成をつかみ、これからの学習を見通す。	・段落のまとまりにキーワード(方法を表す言葉)を付記してまとめさせる。

● 展開例

本時の展開 (3 / 1 3)

目 標

第4・5段落から , コマについてその役割や効果を読み取り , ノートにまとめることができる。

評価規準

ア) コマの特徴や役割を読み取り , 要約している。(読む能力)

学習活動	学習内容・留意点	評価・支援
1 学習課題を確認する。	コマについてまとめよう。	・学習範囲を確認し , 音読させる。
2 第4段落の内容を読み取る。	コマの特徴を読み取る。 ○ 1 文め→コマは四角いわくのことを指している。 ○ 2 文め→1 ページに5 個から 10 個のコマがあり , 読む順番がある。 ○ 3 文め→ふつうは上から下へ , 右から左へ読む。	・コマについて説明されている文節や語句などに目を向けさせる。 ・読み取った内容を発表させ , 板書することで , まとめの手がかりとする。
3 第5段落の内容を読み取る。	コマの重要な役割を読み取る。 ○ 1 文め→物語の展開に重要な役割を果たす。 ○ 2 文め→物語のテンポを速めたり , 場面の印象を強めたりする。 ○ 3 文め→時間や心の動きを表現する。 ○ 4 文め→例を示している。	・1 文めが段落の中心になる文であり , 2 文め・3 文めはその内容を詳しく説明した文であることを確認する。
4 漫画を検証する。	『ジャングル大帝』の例示は , 第5段落の2 文めについての事例であることを確認する。 ○ コマを大きくすることにより , 場面の印象を強めている。 例示された漫画や自由に持ち寄った漫画を使って , コマについて確かめる。	・本文で示されたコマの特徴や役割を見つけた後 , 新たな使われ方なども探させる。
5 読み取ったことをノートに書きまとめる。	4 段落から ○ 1 ページに5 個から 10 個ある四角いわくのことをコマといい , 上から下へ , 右から左へと読んでいく。 5 段落から ○ コマには , テンポを速める , 場面の印象を強める , 時間や心の動きを表現するなどの重要な役割がある。	読 : コマの特徴や役割を要約することができる。(ノート)